

第41回

素形材

産業技術賞

募集のご案内

令和7年

応募締切

5月23日金

表彰式

令和7年

11月7日金

募集対象とする素形材産業技術とは

- 鋳造、ダイカスト、鍛造、金属プレス加工、粉末冶金、型、金属熱処理等に関する技術
- 鋳造機械、鍛圧機械、工業炉に関する技術
- 素形材及びその製造に密接な関連がある加工技術(Additive Manufacturing、複合加工、レーザ応用等)、材料技術
- 素形材に関連したソフトウェア技術(IoTやAI等の活用も含む)等

11月は、「素形材月間」です。

“素形材表彰”で検索

素形材表彰



※令和6年度より「素形材産業経営賞」の新設をしています。

ご応募・
問い合わせ先

一般財団法人素形材センター 業務部

〒105-0011 東京都港区芝公園3-5-8(機械振興会館301号室)

電話: 03(3434)3907 FAX: 03(3434)3698 E-mail: gyomu@sokeizai.or.jp

【第2回素形材産業経営賞も同時募集中】

■ 本賞の趣旨

素形材産業技術賞は、(一財)素形材センターが1985年度に創設した歴史ある表彰制度で、優秀な素形材産業技術の開発により、わが国素形材産業の技術水準の進歩向上に著しく貢献した技術の開発者を表彰し、もってわが国素形材産業の振興に資することを目的としています。特に優れた開発技術には、これまで素形材関連の学・業界として唯一、経済産業大臣賞が授与されてきました。

本表彰事業は、11月の素形材月間事業(本年度で31回目)の中心に位置付けられており、経済産業省関係者等も列席して、表彰式を挙げる予定です。

素形材企業及び素形材業界を応援する表彰制度です。ご応募をお待ちしています。

■ 表彰の対象

※従来技術の改良・改善も対象です。(下線部の通り)

◆素形材産業技術表彰委員会で審査の結果、概ね過去5年以内に開発され、「実用化の実績(実用化の具体的な見通しのあるものを含む)がある新技術・新製品」或いは、「従来技術であっても改良・改善を加えることで特筆する効果を発揮した技術・製品」として認められた優秀な素形材産業技術の開発者に、素形材センターより素形材センター会長賞及び奨励賞を授与するものです。

◆特に優秀なテーマについては、経済産業大臣賞、中小企業庁長官賞、経済産業省製造産業局長賞の交付を申請する予定です。

【表彰の種類(予定)】

- ◇経済産業大臣賞^{※1}
- ◇中小企業庁長官賞^{※1}
- ◇素形材センター会長賞
- ◇産業デザイン財団賞^{※2}
- ◇経済産業省製造産業局長賞^{※1}
- ◇素形材産業技術表彰委員会特別賞
- ◇奨励賞

※1:特に優秀と認められた場合に、経済産業省へ大臣賞等の授与を申請します。但し、所定の水準に達しない場合は“該当なし”とします。

※2:大臣賞、長官賞、局長賞、及び会長賞受賞者の中から、指導者として中核的な役割を果たされた中小素形材企業の経営者を対象とします。

表彰状および副賞の楯



■ 表彰の対象・内容

次の i ~ viii のいずれかについて、顕著な功績を収めた技術開発者を表彰します。

- i 素形材の品質、性能の向上
- ii 素形材生産の効率化
- iii 作業環境の改善又は安全性の向上
- iv 環境の保全(公害防止、廃棄物処理・再生利用、地球環境保全)
- v 資源及びエネルギー使用の効率化
- vi 異分野企業等との連携事業による新たなビジネスモデル構築など
- vii IoT等に配慮した新たな生産体制構築など
- viii その他素形材産業の発展に寄与(SDGs/GXやDXも含む)



■ 募集締切

令和7年5月23日(金)

■ 応募の方法

応募書類の入手

応募書類の様式(MS-Word形式)は、素形材センターのホームページ、下記 URL からダウンロードして入手いただけます。

<https://www.sokeizai.or.jp/pages/134/>

※応募書類様式”を郵送希望の場合は、お電話やFAX等で事務局へご依頼ください。

応募書類の作成

応募書類の記入様式に基づき作成して下さい。また、補足資料(公表資料、図表・写真等)を添付できます。なお、応募内容については他の特許等を侵害していないこと、或いは係争中でないことが条件です。

応募書類の提出

応募書類は、eメール(電子データ)、または郵送(プリント1部、及び同書類をCD等に格納した電子データ)のいずれかでお送りください。応募書類は、本表彰の審査以外には使用いたしません。なお、応募書類は選考結果に関わらず返却いたしません。

■ 審査の流れ

審査は、素形材センター会長が委嘱する学識経験者で構成する素形材産業技術表彰委員会において、本賞の審査基準に基づき以下の流れで審査します。

第一次
書類審査

第二次
書類審査

ヒアリング
審査

現地審査

最終審査

【審査基準】

- ✓ 技術レベル（革新性、品質向上貢献度、生産性、開発難易度等）
- ✓ 実用化実績（或いは実用化の具体的な見通し）
- ✓ 環境配慮性（省エネルギー、CO₂排出削減、省資源、GX等）
- ✓ 経済性や経営への貢献度
- ✓ 将来への発展性・産業への寄与



■ 受賞者の公表、表彰式

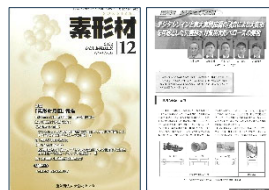
- ◆11月の素形材月間記念式典で公表・表彰式を行います。
- ◆開催日：令和7年11月7日(金)
- ◆会場：機械振興会館大ホール（東京都港区芝公園3-5-8）
- ◆当センターのホームページやメールマガジン等で公表・PRいたします。

■ 受賞技術、製品等の普及支援

受賞技術を月刊誌「素形材」等で紹介し、技術・製品等の普及をお手伝いします。

素形材に携わる経営者や技術者、そしてユーザーの皆様にご愛読いただいております本誌12月号に受賞内容を紹介します。原稿執筆をお願いいたしますので、予めご了承ください。

これまで経済産業省本館ロビーに於いて“受賞技術の展示”を行いました。本年度も展示を予定しています。



素形材センター会長賞以上を受賞された技術開発代表者には、月刊誌「素形材」を1年間無料で購読いただけます。

令和6年度 第40回素形材産業技術賞 受賞一覧



経済産業大臣賞

デジタルツインと実大実験技術の融合により大変形を可能とした災害断水対策用大形ペローズの開発
日本ニューロン株式会社



経済産業省製造産業局長賞

EVを支える高性能モータの高速・高精度プレス加工技術の開発
株式会社デンソープレステック / 名古屋工業大学

ハイブリッドレーザ・アーク溶接と一体プレス成形による車両ラダーフレームの量産製造技術の開発
トヨタ自動車株式会社 / 株式会社ダイヘン



一般財団法人素形材センター会長賞

工具損傷を抑制する保護膜を活用した高被削性冷間ダイス鋼の開発
株式会社プロテリアル



素形材産業技術表彰委員会特別賞

X線半価幅による熱処理硬化層深さ測定装置の開発
パルステック工業株式会社



奨励賞 4件



産業デザイン財団賞 1名

日本ニューロン株式会社 代表取締役 岩本 泰一 氏

※ なお受賞内容等の詳細は、素形材センターホームページで紹介しております。

受賞者プレゼンテーションの様子

令和6年度は、素形材月間記念式典において受賞者による受賞技術のプレゼンテーションを行いました。



受賞者の声

- ◆新せん断加工法の開発で素形材産業賞を受賞させていただきました。それを契機として塑性加工学会賞の受賞や関連業界からの寄稿依頼もありました。本技術を広くご紹介いただいた成果だと感謝しております。
(第37回：経済産業省製造産業局長賞 ご受賞者)
- ◆新規のお客様に当社の会社概要をプレゼンする際に、素形材産業技術賞を受賞した技術を紹介することで、その他の技術においても当社が高い技術力をもった企業として認識し信頼され、大手企業様への拡販につながりました。
(第36回：素形材センター会長賞 ご受賞者)
- ◆受賞を契機として、これまで全くお付き合いのなかった企業様よりご連絡をいただいたり、関連する業界団体より工場見学の依頼があったりと、受賞技術の知名度が大きく向上したことを実感致しました。
(第34回：ご受賞者)

※HPには受賞者の声をアップしておりますのでご覧ください。



一般財団法人素形材センター

〒105-0011

東京都港区芝公園3-5-8機械振興会館301号室

電話:03(3434)3907 FAX:03(3434)3698

ホームページURL : <http://sokeizai.or.jp>